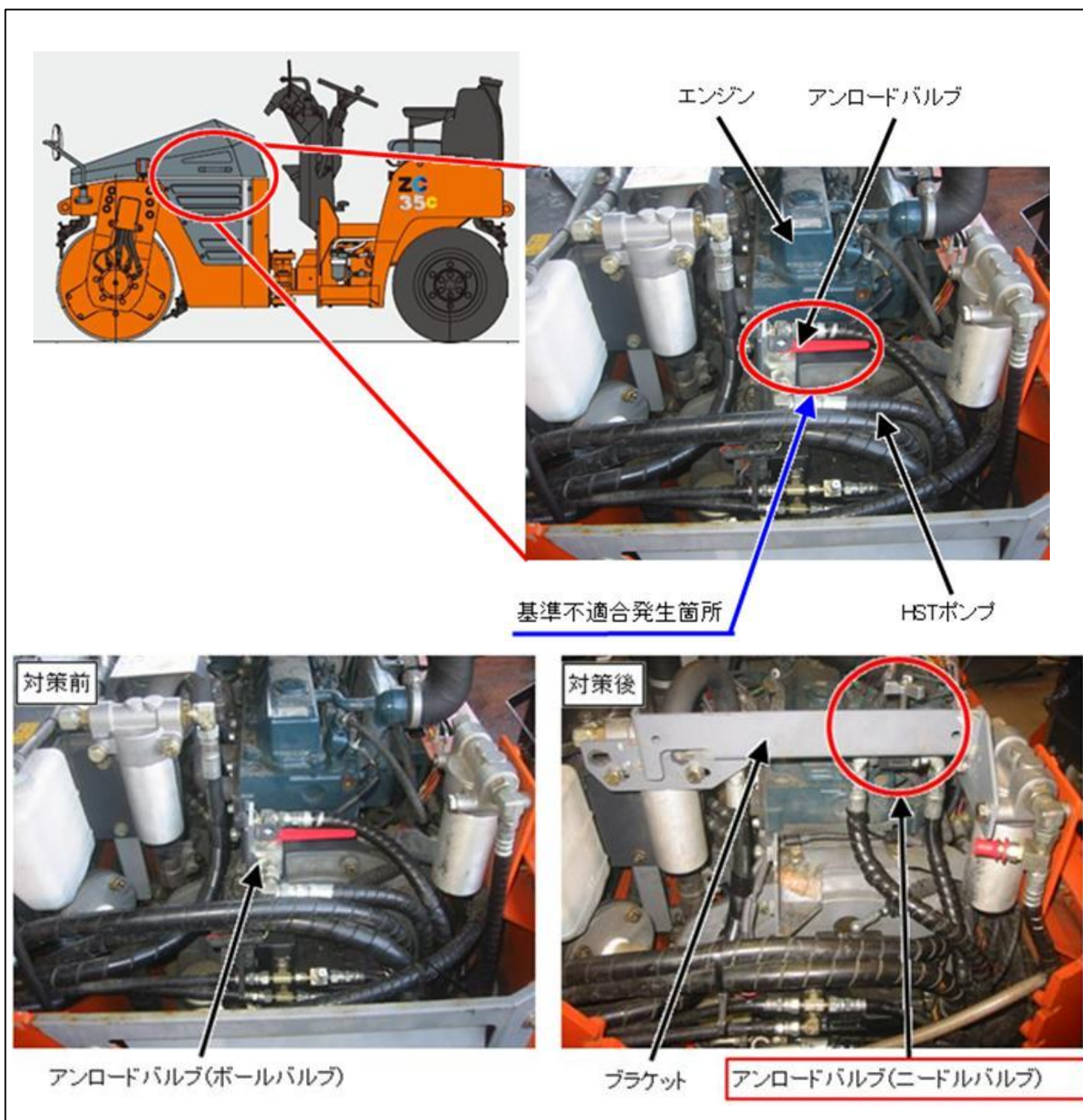


改善箇所説明図 1



□は対策部品を示す

ロード・ローラにおいて、

- ①牽引時に使用するアンロードバルブの設計評価が不適切なため、走行時の油圧負荷がかかることにより、バルブ内のボールシートが変形することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボールの固定力が小さくなり、走行時の振動等によりバルブのレバーが意図せず動き、最悪の場合、走行中、アンロードバルブが全開になり、走行モータに油圧がかからずに走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

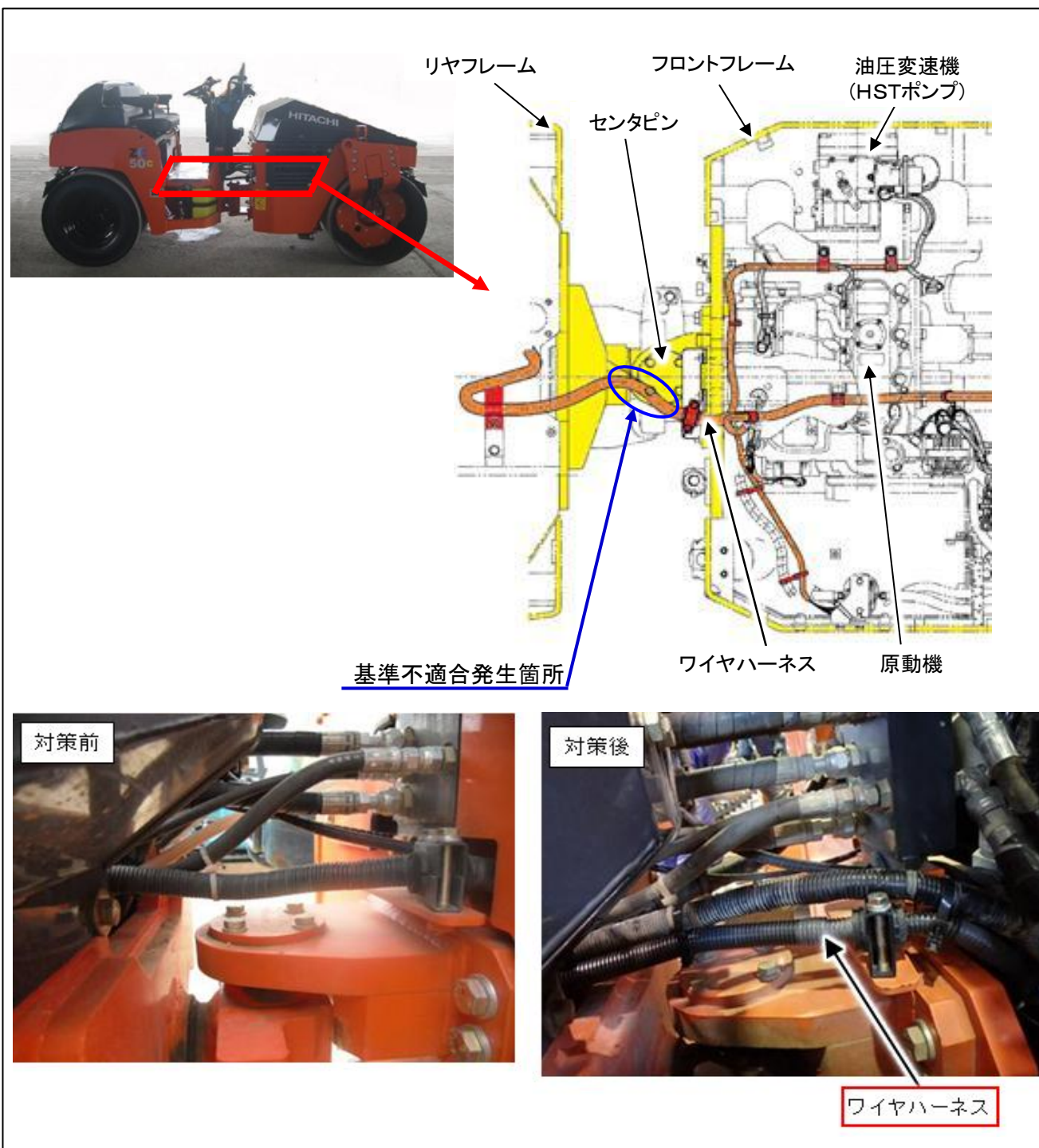
全車両、

- ①アンロードバルブを対策品に交換する。

識別

- ①バルブ形式およびブラケット形状が異なるため識別可能。

改善箇所説明図 2



□は対策部品を示す

ロード・ローラにおいて

- ②ワイヤハーネスの製造指示が不適切なため、ハーネス内の電線がねじれているものがある。そのため、左右ステアリング操作を繰り返しおこなうと、当該ハーネス内で電線同士が接触して断線し、最悪の場合、エンジンが始動できない、前照灯の不点灯、意図せず駐車ブレーキが作動する等の不具合が発生するおそれがある。

改善措置の内容

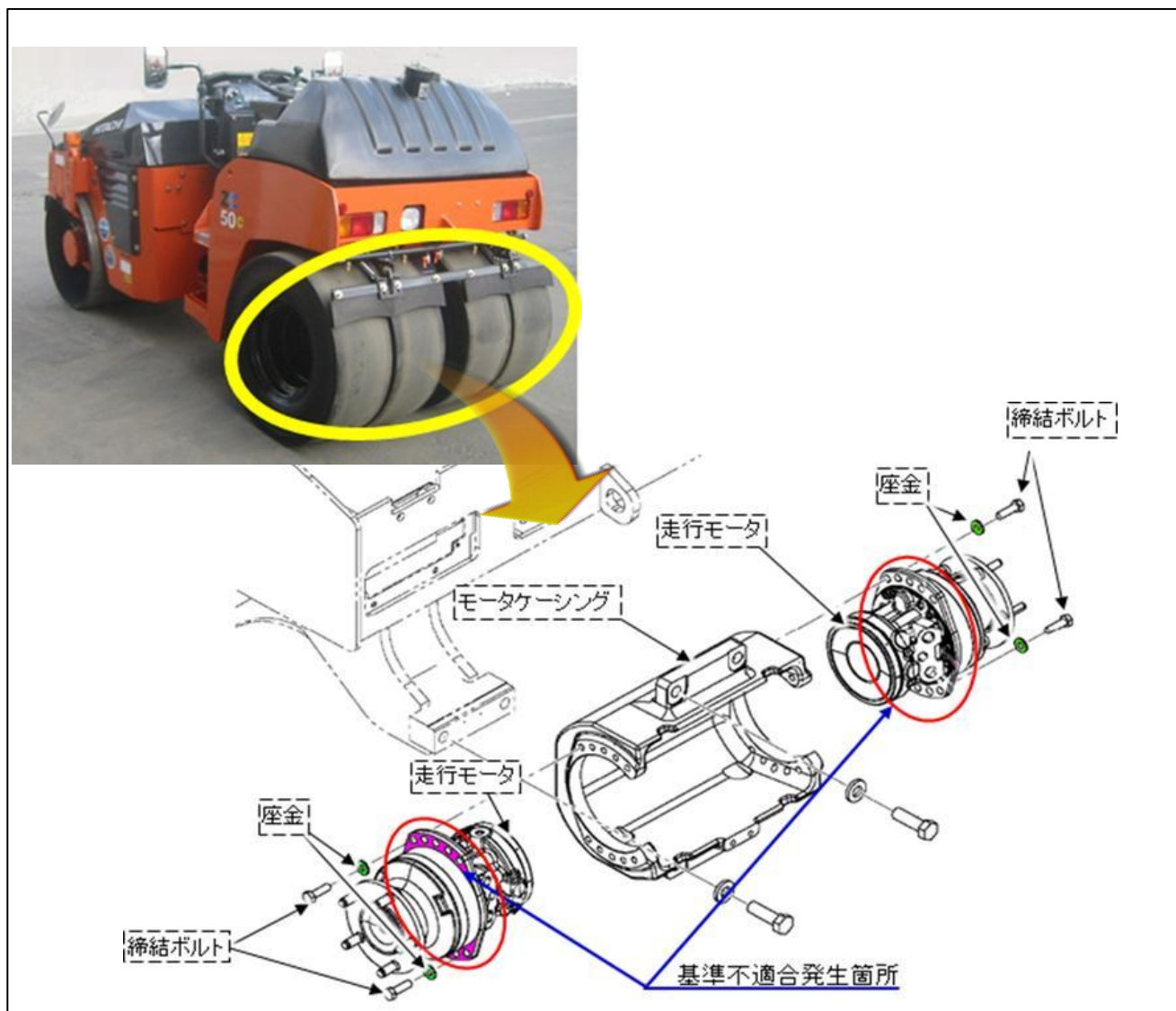
全車両、

- ②対策品のワイヤハーネスを取付ける。

識別

- ②車体曲折部をワイヤハーネスが2本通ることから識別可能。

改善箇所説明図 3



□は対策部品を示す

ロード・ローラにおいて

- ③後輪走行モータの取付部のボルト座面の塗装指示が不適切なため、塗膜が潰れてボルトの締結力が低下することがある。そのため、走行時の振動により当該ボルトが緩み、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが脱落し、最悪の場合、走行モータが外れて走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、

- ③後輪走行モータの締結ボルト座面の塗膜を除去し、ボルトを新品に交換する。

識別

- ③モータケーシングの下部に白ペンキでマークする。